観光業こそ地域活性化の第一歩



私は東洋町で 18 年ダイビングショップを営んできましたが、地域の方とあまり触れ合う機会がありませんでした。

遠ざけていたというわけではありませんが触れ合わなくても生計が立てられてきたからというのが正直なところです。

ところが昨年東洋町観光振興協会の会長就任要請を頂きました。

今までの事を考えるとお断りするのが妥当だろうと思いましたが今まで生計が立て てこられたのはこの町のおかげと思い、今まで学んできたことを伝えるのが「この町 への恩返し」と会長職を受けることにしました。

たぶん「東洋町に観光客を呼んで欲しい」という思いで僕に会長就任の依頼が来たと思うのですが、今やらなければならないことは"観光業"を育成することです。 現在この町で観光の仕事をしているのはほとんどが県外の方で、地域の方は少ないように思えます。

僕のようなダイビングを仕事にしている地元の人はおられませんし、サーフィンショップも同様です。

とにかく地域の人が、「観光業というのは飯食えるんや」というのを知ってもらえれば地域活性化が進むものと思えてなりません。

地域の人にここで頑張るサーファーを知ってもらいたい



今回、東部博のコアイベントとして「東洋町サーフィン選手権&スペシャルライブ」 を開催しますが「とにかく地域の人に生見というところに来てもらうこと」、これが 第一歩だと思っています。

住民の方の多くは「町の自慢はサーフィン」と言いながらも、生見海岸でサーフィンを見たことがほとんどありません。

当然ながらサーファーさんたちと触れ合う機会がありませんでした。

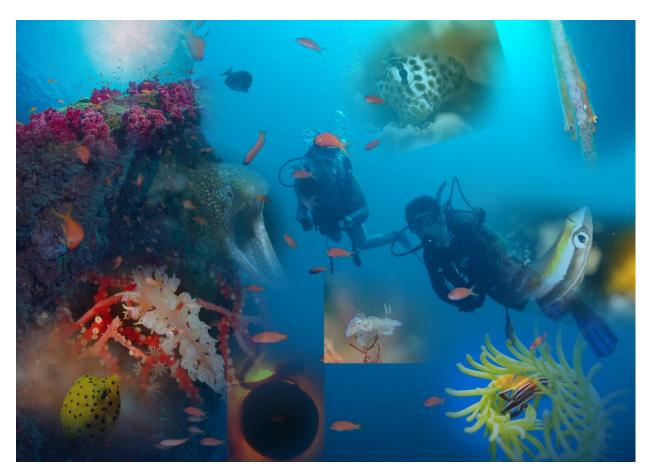
それは過去の固定概念で「サーファーは悪い」と思う地域の方々が多かったからだと 思います。

今回のイベントではこの固定概念を払拭する意味でも「地域の方に生見に来てもらう方法は?」と考えた結果「演歌歌手に来てもらったらどうだろう?」と言う話になり八代亜紀さんをお迎えするということになりました。

八代さんに会いに地域の方々たちがこられ、そこでエスコートするのが地元サーファーの人達や生見を愛するサーファーの方々であれば「お前らそんな奴やったんやな」ときっと心開かれ新たな交流が生まれ、そして何かが変わるのではと期待しています。

ただ八代さんを迎える他の予算は今年度限り。これを次年度以降続けるためにはこのイベントをきっかけに地域の方が「来年は私らも協力しちゃる」と言っていただければきっとこの町はサーフィンの町だって堂々とみんなが言えると思います。

マリンレジャーで東洋町に移住者を増やしたい



この町では人口減少というのが一番の大きな問題となっています。

悲しいことに2040年に消滅する可能性自治体リストにも載っています。

地方創生はこの人口減少にどのようにして歯止めをかけるのか、そして東京一局に 集中する若者をどう地方へ移住させるのかが最大の柱です。

例えば、沖縄の看護師さんの多くは県外者だそうです。

ダイビングの雑誌にはよく「珊瑚礁のきれいな町、○○病院で働きませんか?」と求 人広告が掲載されています。

きれいな海の写真と共に「こんなところでダイビングできます。休みもこれだけあります」って書いてあります。

そしてこれ見よがしに「ダイビング休暇あり」とかなんか書いています。

これはダイビングを趣味としている人が趣味と実益を兼ねて移住した証拠なのです。 移住促進計画はそういう人にターゲットを絞った方が、絶対に効果があると思いま す。

例えば「ダイビングが出来ますよ、将来的にお店も出せますよ」と誘致すれば、夢を持って来てくれる人が必ず現れ人口減少の歯止めにつながり、何より地域を活性化してくれる人たちだと信じています。

私はそんな移住環境がこの町で出来たら良いなと思っています。

新たな水上アクティビティ ジオ・サップを体験して下さい



ジオ・サップ は簡単にいうと水上さんぽです。

サップ(SUP)とはスタンド・アップ・パドルボートの略でサーフボードのようなボートに立ちパドルを使って水面を進むというここ最近生まれたアクティビティです。これはサーフィンと違いちょっとしたコツをつかめば誰でも簡単に始められます。サップの面白いところはまさに水面をさんぽするという感覚と水の上ならどこでも浮かび移動できる機動力です。

東部地域であれば野根川や奈半利川、魚梁瀬ダムや農水ダムさらには田んぼの上でも乗ることができます。

またオプションとしてスノーケリングも楽しめますし、お子様はもちろんペットと 一緒に乗ることも可能です。

まさに東部博のテーマである「ジオ(地球の恵み)を体感する」にピッタリの遊びが このジオ・サップなのです。

体力的にはハードワークではありませんが体幹でバランスを取るためインナーマッスルが鍛えられ姿勢が良くなるなどエクササイズとして取り入れている団体もあるほどです。

私はこの東部地区が ジオ・サップ のメッカとなる日を夢見ています

体験プログラムを通じて「東洋町のファン」を増やしたい



これから観光振興協会ではサーフィンやサップ、ダイビングなどのマリンレジャー体験そしてこの町の暮らしや文化を知る「田舎体験」に更なる力を入れて取り組んでいきます。

例えばサーファーと呼ばれる皆さんは正直あまりお金を使いません。なぜならボードやウエットスーツはお持ちですし、何より年代層が若いですから車で寝るのも全く苦にしません・・・(笑)。

ところがサーフィン体験をしたい人というのは何も持っていませんからサーフィンにお金を出せるんです。

うちのダイビングショップのお客さんにも「サーフィンを体験してみたい?」と聞く と「やってみたい」と言われます。

協会を通じて生見のサーファーの方たちとも接点ができたので体験サーフィンに何 人か連れて行きましたが皆さん大喜びでした。

マリンレジャーや田舎体験が常時できるようになれば一人のお客様がより多くのお金を使ってくれるようになり何より「東洋町のファン」となってくれます。ファンは心温かくそしてこの町が困ったとき応援してくれます。

私が 18 年間観光業で生計が立てられたのは全て「美しい東洋町の海」があったからです。

この海の素晴らしさや自然の中で暮らす生き物たちの健気な姿を見てもらい、この 海の良いところを一緒に探してもらいました。

そして一緒に何事にも取り組んだ結果ファンとなってくれたのです。

ファン作りが観光振興協会の取り組むべき最大のテーマであると共に地方創生そのものと私は思っています。